



七州の覇



熱誠事に当りなば 海内比なき校風の
確立などか難からむ

令和7年7月8日発行
共通テストまで193日

この夏を、かけがえのない夏に

○オープンキャンパスに参加しよう

第1志望を絞り込んでゆくのに、オープンキャンパスに参加するというのは有効な手段です。できれば複数の大学のオープンキャンパスに参加し、大学の学びを実体験してください。

○志望校の受験科目等を調べよう

大学受験について、自分の長所を生かすために志望校の受験科目を知ることはとても大切です。先輩からは志望校はできるだけ早く決めた方が良いというアドバイスもあります。オープンキャンパスと並行して志望する大学の受験科目や研究内容も調べてください。

○三者面談では情報の共有と率直な意見交換を

夏休み中に各年次で三者面談を実施します。クラスごとに計画が立てられていますので、自分がいつなのかを確認してください。進路は自分の問題でありながら、自分だけでは乗り切れません。学校、保護者、そして「私」がタッグを組んで初めて良い結果が得られるものです。進路等に関する自分の思いを率直に話してください。そして親の思いも聞き、学校のアドバイスを参考にして、自分の進路希望を少しずつ具体化させていきましょう。

○学習計画を立て、先を見据えた受験の準備をすること（主に3年生に向けて）

①国公立大2次試験、共通テストから逆算して、月ごと、週ごとの学習計画を立てる。

②総合型選抜、学校推薦型選抜の受験を考えている場合、

願書はいつから入手可能で、
出願までにどんな書類が必要で、
受験科目は何で、
受験日はいつか、
を確認する。

※今年度の共通テストは、ウェブ出願です。
『受験案内』は既に公示されています。各自
でダウンロードしてよく読んでおこう！

③オープンキャンパスには参加する。

④赤本で過去問を3年分ほど解いて、合格ラインを確認する。

⑤模試の振り返りを丹念にやる。出来なかった問題こそ繰り返しやる。

⑥あくまでも、一般入試で合格するための学習をする。記述力を高める。

※総合型選抜や学校推薦型選抜でも、合格できる確率は50%以下です。

⑦ウェブ出願が基本ですので、自宅にインターネット環境を整える。

以上、夏休みの間にやるべきことです。



できる、できないではなく、やるか、やらないかだ。

栗山英樹



進路部長の菅野です

今回は東北大学入試の話です。

※令和8年度東北大学入学者選抜について(変更点)

①薬学部におけるA○Ⅱ期の実施

- ・定員枠4の新設（これに伴い、前期選抜枠は56→52へ減）
- ・第1次選考→筆記試験／第2次選考→面接試験

②医学部保健学科放射線及び検査技術におけるA○Ⅲ期の募集人員の拡大

- ・放射線 8→10（これに伴い、前期選抜枠は25→23へ減）
- ・検査技術 8→10（これに伴い、前期選抜枠は25→23へ減）

☆東北大学は、昨年度「国際卓越研究大学」に認定され、およそ100億円が国から助成されています。これにより、今春の入試倍率及び難易度が上がりました。東京・神奈川から多数の合格者が出ています。(裏面へ続く)

※令和7年度東北大学入試実施状況（令和6年度／令和7年度比較）

入学年度	令和6年度			令和7年度		
入試区分	AOⅡ期	AOⅢ	前期選抜	AOⅡ期	AOⅢ	前期選抜
募集人員	288	383	1629	288	383	1630
志願者数	1232	1048	4423	1319	1427	4617
受験者数	554	659	3937	559	656	4145
合格者数	298	397	1713	292	390	1702
倍率	1.86	1.66	2.30	1.91	1.68	2.44
入学者	298	397	1668	292	390	1643

☆すべての入試区分で、倍率が上がっています。数値的には、わずかな上昇に見えますが、この上昇によってはじき出された（不合格になった）受験生は、概ね東北勢で、割って入った（合格した）受験生は、概ね関東勢です。安積高校が感じたのは、「なかなか入らない」ということでした。特に理系AOⅢ期のポーターが跳ね上がり、難化を実感しました。今春合格した先輩は、いずれも高い記述力を持っていました。

☆今回は東北大学を中心に見てきましたが、いくら難化したと言っても、安積高校の生徒の高いポテンシャルを鑑みれば、十分に乗り越えられる壁です。しかも、安積高校では以下のプログラムにより、早期から難関大学対策を行っています。これらのプログラムへの積極的な参加により、無理なく意識や知識だけでなく学力も身に付けることができます。

《 安積高校難関大学合格プログラム 》

1年次の進路指導 目標:難関大学志望者の母集団を形成する

目標を達成するための取り組み

5月:東京大学五月祭見学会(動機付け)

〈令和7年度東京大学五月祭見学会事後アンケートより〉参加生徒数 2年21名、1年65名、計86名

- ・東大講座は東大を目指すにはもちろん、東大以外の大学を目指すにも有意義な講座だった。自分はスマートフォンの使い方や勉強をする習慣が定着していないなどの課題があるため、修正していきたい。
- ・志望校を東大か東北大かで決めかねていたが、東大講座で東大受験の心構えや東大生の何事にも熱心に取り組む態度、そして何より質問したときに的確に分かりやすく教えてくれる優しさから、僕は東大に進学して他の東大生と切磋琢磨したいと思いました。しかし、今度は理学部にするか工学部にするか悩むようになりました。他にもいろいろなものに参加して半断したいです。

7月:東北大学オープンキャンパス見学会(動機付け)

8月:夏季安積セミナー(意識涵養/学力養成)

10月:高1早期東大対策講座(学力養成)

12月:冬季安積セミナー(意識涵養/学力養成)

2年次の進路指導 目標:難関大学志望者の母集団を維持する

目標を達成するための取り組み

4月:駿台模試上位者成績分析会(上位層の状況把握)

夏季:各大学オープンキャンパス(志望校探究)

8月:東大セミナー(母集団の維持)

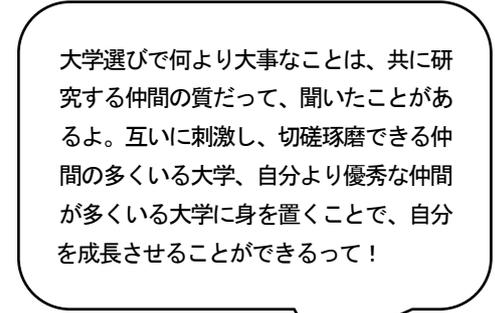
夏季安積セミナー(意識の深化高揚/学力養成)

10月:高2早期東大対策講座(学力養成)

12月:冬季安積セミナー(意識の深化高揚/学力養成)

3月:春季特別学習会(学力養成)

3年次の進路指導 目標:難関大学志望者が第一志望に出願し、合格する



この夏をムダにするな!

「苦手」にどう向き合うか! 「苦手」を言い訳にして、苦手科目から逃げてはいないか? 学習の基本は「反復」と「継続」です。繰り返し繰り返し、辛抱強く取り組むこと以外に方法はありません。